



令和3年9月17日

市内で出土した縄文人全身骨格のパネル展を開催

習志野市で初めて出土した縄文人の全身骨格の写真パネル展を開催いたします。

【出土の経緯】

平成 31 年 2 月 屋敷貝塚がある屋敷五丁目の個人宅の建築に伴い、埋蔵文化財調査を実施したところ、縄文人の全身骨格が出土。

令和 2 年 5 月 国立科学博物館に復元、鑑定を依頼。

令和 3 年 1 月 国立科学博物館より鑑定(同定調査)結果の報告。

- 1体は全身骨格で身長 155.5cm、40 歳程度の男性と推定。(A 人骨)
- 1体は全身の左半分と右脚部。154cm、15 歳前後の男性と推定。(B 人骨)

令和 3 年 8 月 習志野市文化財審議会にて鑑定(同定)結果を報告。

【パネル展示】

習志野市で初の縄文人の全身骨格であり、市民周知を図るため、市役所で写真パネルによる展示を開催します。

期 間：令和3年10月25日(月)～11月24日(水)まで

場 所：習志野市役所 1階展示コーナー

※当該全身骨格は大変もろい状態であることから、国立科学博物館に保管しています。
※屋敷貝塚の発掘現場は、現在個人住宅が建っており、形跡はありませんので、訪問はお控えください。

〈次ページに写真あり〉

【問合せ先】

習志野市教育委員会

生涯学習部 社会教育課

電話：047-453-9382

